

令和6年度特色入試問題

《理学部（数理科学入試）》

数学に関する能力測定考査

80点満点

(注 意)

1. 問題冊子および解答冊子は係員の指示があるまで開かないこと。
2. 問題は全部で4題ある(1ページから4ページ)。
3. 解答冊子は問題ごとに1冊ずつある(全部で4冊ある)。それぞれの解答冊子は表紙のほかに8ページある。
4. 試験開始後、それぞれの解答冊子の表紙所定欄に受験番号・氏名をはっきり記入すること。表紙には、これら以外のことを書いてはならない。
5. 解答は問題ごとに指定された解答冊子の解答用ページに書くこと。ただし、続き方をはっきり示して同じ解答冊子の計算用ページに解答の続きを書いてもよい。この場合に限って計算用ページに書かれているものを解答の一部として採点する。それ以外の場合、計算用ページは採点の対象としない。
6. 解答のための下書き、計算などは、計算用ページに書いてもよい。
7. 解答に関係のないことを書いた答案は無効にすることがある。
8. 解答冊子は、どのページも切り離してはならない。
9. 問題冊子は持ち帰ってもよいが、解答冊子は持ち帰ってはならない。

1

(20 点)

2 以上の自然数 n に対して, n を割り切る素数の個数を $f(n)$ とする. 例えば $n = 120$ のとき, 120 を割り切る素数は 2 と 3 と 5 なので, $f(120) = 3$ である. 不等式 $f(n) \geq \frac{\sqrt{n}}{2}$ を満たす 2 以上の自然数 n をすべて求めよ.

2

(20 点)

$x^{100} - 3x^{10} - 2x - 1 = 0$ を満たす実数 x の個数を求めよ.

3

(20 点)

座標平面上の円 $D_1 : x^2 + y^2 = 64$ と円 $D_2 : x^2 + (y - 4)^2 = 9$ に関して、以下の設問に答えよ。

- (1) 座標平面上の 3 点 $(0, 8)$, $(3\sqrt{7}, 1)$, $(-3\sqrt{7}, 1)$ を頂点とする三角形の外接円は D_1 であり、内接円は D_2 であることを示せ。
- (2) D_1 が外接円であり、さらに D_2 が内接円である任意の三角形 $\triangle ABC$ に対して、実数 α, β, γ を

$$\alpha = \frac{AB + BC + CA}{2} - BC,$$

$$\beta = \frac{AB + BC + CA}{2} - CA,$$

$$\gamma = \frac{AB + BC + CA}{2} - AB$$

と定める。このとき $\alpha\beta + \beta\gamma + \gamma\alpha = 105$ が成り立つことを示せ。

4

(20 点)

t を実数とする. 投げたとき表と裏の出る確率がそれぞれ $\frac{1}{2}$ であるコインを 10 回投げて, 座標空間の点 $P_0, P_1, P_2, \dots, P_{10}$ を以下で定める.

- P_0 の座標は $(1, 2, 3)$ とする.
- n を $1 \leq n \leq 10$ を満たす任意の自然数とする. P_{n-1} の座標が (x, y, z) であるとき, もし n 回目のコイン投げで表が出たなら P_n の座標は $((1-t)x + ty, x, z)$ とし, 裏が出たなら P_n の座標は $(x, (1-t)y + tz, y)$ とする.

例えば $t = -1$ のとき, 1 回目のコイン投げで表, 2 回目のコイン投げで裏が出たなら, P_0, P_1, P_2 の座標はそれぞれ $(1, 2, 3)$, $(0, 1, 3)$, $(0, -1, 1)$ となる. また $t = -1$ のとき, P_1 が取り得る座標空間の点は $(0, 1, 3)$ と $(1, 1, 2)$ の 2 個である. 以下の設問に答えよ.

- (1) $t = -1$ のとき, P_3 の座標が $(1, 0, 1)$ となる確率を求めよ.
- (2) P_{10} が取り得る座標空間の点の個数を $N(t)$ とする. $N(t) \geq 250$ となる実数 t が存在するかどうかを判定せよ.

問題は, このページで終わりである.